

作業部会等における検討経過

作業部会等		案件等	
第3次総合計画の検証	第1回	6月17日(金) 12:45~13:25 (14:15~15:00)	【全体会】 1 第4次総合計画の策定方針について 2 第3次総合計画の検証等の進め方について
	各部検討会議	~7月5日(火)まで	第3次総合計画の検証に係る意見集約
	第2回	7月11日(月) 9:00~12:00	【各部会】 1 第3次総合計画の検証作業
	第3回	7月19日(火) 13:00~17:00	【合同部会】及び【各部会】 1 第3次総合計画の検証作業
第4次総合計画の検討	第4回	8月9日(火) 16:00~17:00	【全体会】 1 第3次総合計画の検証結果について 2 基本構想(素案)の検討の進め方について 3 市民参画の取組について
	各部検討会議	~8月19日(金)まで	基本構想(素案)の検討に係る意見集約
	第5回	8月17日(水) 14:00~16:45	【若手職員を交えてワールドカフェ方式で意見交換を実施】 1 将来像の検討について
	第6回	8月23日(火) 13:00~17:00	【各部会】及び【全体会】 1 将来像の検討について
	第7回	8月31日(水) 13:00~16:00	【各部会】及び【全体会】 1 施策の大綱の検討について
	各部検討会議	~10月7日(金)まで	人口推計及び施策の大綱の検討に係る意見集約
	第8回	9月26日(月) 15:30~17:30	【各部会】 1 人口推計について 2 施策の大綱等の検討について
	第9回	10月26日(水) 9:30~12:00	【各部会】 1 基本構想(素案)まとめ 2 基本計画(素案)の検討に向けて

※上記のほか、作業部会の進め方等について協議を行うため、3回の部会長会議を実施した。
(7月8日、8月9日、8月17日)

第4次総合計画の検討の流れと考え方 (H28.10.28時点)

■ 背景

吹田市のあゆみ

- 全国モデルとなる千里NTの建設→NT再生へ
- 万博の開催
- 吹田操車場跡地→北大阪健康医療都市

人口

- 住宅開発により、近年、大幅な転入超過
H17 **35.4万人** ⇒ H27 **37.4万人**
(「国勢調査」より)

地域資源

- みどり豊かで調和のとれた都市空間、高質な生活環境
- 充実した医療・教育・研究環境と産業集積
- 歴史と文化、高い市民力 など

都市宣言

- 非核平和都市宣言
- 健康づくり都市宣言
- 安心安全の都市(まち)づくり宣言

社会潮流

- 少子高齢化の進展、産業・雇用構造の変化
- 高度経済成長期以降、一斉に整備した公共施設等の老朽化への対応
- 環境問題の深刻化や多発する地震や豪雨などの災害への関心の高まり
- ライフスタイルが多様化するなか、市民ニーズの多様化・高度化への対応 など

■ 第3次総合計画の検証結果

市民意識

- 多くの市民が優先して実施すべきと考えている分野
 - ・子どもを育てる環境
 - ・学校教育
 - ・地震や水害などに対する防災対策
 - 多くの市民が抱く「吹田市の望ましい将来像」
 - ・子育てのまち
 - ・福祉のまち
 - ・医療のまち
 - ・安心安全なまち
 - ・住宅環境が整ったまち
 - ・市民の暮らしを支える安定した基盤が整ったまち
- ⇒ “あらゆる世代が安心安全で暮らしやすいまち” が望まれている (「H26 市民意識調査」より)

各分野の主な課題

【1章】すべての人がいきいき輝くまちづくり	【2章】市民自治が育む自立のまちづくり	【3章】健康で安心して暮らせるまちづくり	【4章】個性がひかる学びと文化創造のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 多様化する人権課題への対応や性的少数者への配慮 ● 女性活躍の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ● 多様な主体との協働の推進 ● 広域的なコミュニティ施設のあり方等についての検討 <p>注：市が発信する情報に満足している市民 H18 40.9% ⇒ H26 25.9%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活困窮者への支援 ● 「吹田版ネウボラ」の推進 ● 健康寿命延伸のための取組 ● 地域包括ケアシステムの構築 <p>注：何らかの社会参加をしている高齢者 H18 68.6% ⇒ H26 59.5%</p> <p>注：待機児童数 H18 42人 ⇒ H28 230人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語教育等、学校教育の質の向上 ● 老朽化した校舎等の大規模改造
【5章】環境を守り育てるまちづくり	【6章】安全で魅力的なまちづくり	【7章】活力あふれるにぎわいのあるまちづくり	基本計画推進のために
<ul style="list-style-type: none"> ● 環境保全に向けた市民、事業者との協働の推進 <p>注：大気汚染、騒音などの公害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域における防災・防犯の取組の強化 ● 都市機能などの適切な立地誘導 ● インフラの効率的な更新を視野に入れた適正な維持管理 <p>注：地震や風水害への対策 防犯対策 歩行者にとっての道路や交通の安全性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業者や近隣市と連携した魅力発信 ● 人が交流し、安心して買い物できる商業地づくりへの支援 ● 介護、保育等の人材不足分野への就職支援の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中長期の見通しを踏まえた持続可能で健全な財政運営 ● 公共施設の最適化 ● 行政評価及び新公会計制度の一層の活用

【参考】「吹田市第4次総合計画策定 課題検討集(案)」「市民を対象とした各種意識調査の分析報告書(案)」

■ 第4次総合計画のイメージ

1 基本構想

(1) 将来像

将来像に盛り込むべき視点

- 安心安全： 危機管理に関するだけでなく、平和、福祉、子育て、健康などのあらゆる面での安心
- 住みやすい(暮らしやすい)： 良好な環境、利便性、快適性など
- 持続可能： 少子高齢化の進展など時代が変化するなかでも、将来世代へ本市の魅力を受け継ぐ

(2) 施策の大綱

【施策の大綱】…将来像の実現に向け、各分野における今後の取組の方向性を示す。分野を超えた連携や市民、事業者など多様な主体と行政との協働を進める。



【参考】「吹田市第4次総合計画基本構想(素案) H28.10.28)」

2 基本計画

- 【施策体系】：施策の大綱に沿って10年間で取り組むべき施策を示す。
 - ① 担当所管や関連する個別計画を明記
 - ② 個別計画も含めた一体的な進行管理を行うための指標を設定
 - ③ 中長期財政計画を踏まえ、取組の優先性や実現可能性などを考慮しながら、施策を検討
- 【中長期財政計画】：中長期的財政収支見通しを示す。(公共施設最適化、少子高齢化に伴う扶助費の増加等の影響を想定)
- 【地域別重点取組】：地域別の特性や重点取組を示す。

基本構想(素案)の検討における第3次総合計画の検証結果の

反映状況について

第3次総合計画 施策の大綱		【検証結果】 H28. 8. 8 時点 ※第4次総合計画基本構想に新たに 追加すべき内容等に関する主な意見	【反映状況】 H28. 10. 28 時点 ※第4次総合計画基本構想 (素案)における検討内容
【1章】 すべての人 がいきいき 輝くまちづ くり	【1節】 非核、 平和のまちづく り	すべての施策の基本となる取組であるため、施策体系の位置づけについて検討が必要。	大綱1【人権・市民自治】で位置づけ。また、施策の大綱において分野を超えた連携に取り組むことを明記。
	【2節】 人権を 尊重するまちづ くり		
	【3節】 男女共 同参画のまちづ くり	女性活躍の推進、性的少数者への配慮の視点を追加。	大綱1の概念に含め、詳細は基本計画において記載することを検討。
【2章】 市民自治が 育む自立の まちづくり	【1節】 コミュ ニティ活動の充 実	広域的なコミュニティ施設のあり方や地域コミュニティ活動の重要性を盛り込むことについて検討が必要。	同上
	【2節】 コミュ ニティ施設の充 実		
【3章】 健康で安心 して暮らせ るまちづく り	【1節】 すべて の子どもが健や かに育つまちづ くり	①子どもの貧困対策に関する取組を追加。 ②「子ども・子育て支援新制度」に関する取組を追加。 ③子育てと教育を1つの分野とする。	①②：大綱4【子育て・教育】の概念に含め、詳細については基本計画において記載することを検討。 ③：子育てと教育を大綱4としてまとめた。
	【2節】 高齢者 の暮らしを支え るまちづくり	地域包括ケアシステムの構築に関する取組を追加。	大綱3【福祉・健康】の概念に含め、詳細については基本計画において記載することを検討。
	【3節】 障害者 の暮らしを支え るまちづくり	①障害者差別解消法（H28.4 施行）に基づく取組を追加。 ②今後はソフト施策においてもユニバーサルデザインの標準化が必要（障がい者施策のみならず他の分野でも必要）。	①②：同上
	【5節】 生活を 支える社会保障 の充実	生活困窮者への支援に関する取組を追加。	同上
	【6節】 健康な 暮らしを支える まちづくり	①「健都」の取組の追加。 ②健康・医療のまちづくりによる健康寿命延伸に関する取組を追加。	①同上 ②大綱3で明記。

第3次総合計画 施策の大綱		【検証結果】H28.8.8時点 ※第4次総合計画基本構想に新たに 追加すべき内容等に関する主な意見	【反映状況】H28.10.28時点 ※第4次総合計画基本構想 (素案)における検討内容
【4章】 個性がひかる 学びと文化 創造のまち づくり	【1節】学ぶ意 欲と主体性を育 てるまちづくり	子どもの貧困に関する取組を追加。	大綱4【子育て・教育】の概念に含め、詳細については基本計画において記載することを検討。
	【3節】スポー ツに親しめるま ちづくり	健康寿命延伸を目的とした運動の習慣化など関係部局との連携が必要。	基本計画において検討。
	【4節】多彩な 文化が交流する まちづくり	文化の施策体系への位置づけについて検討が必要。	大綱7【都市魅力】で位置づけ。
【5章】 環境を守り 育てるまち づくり	【2節】自然と 共生するまちづ くり	生物多様性の保全に関しての北摂各市との連携が必要。	大綱5【環境】の概念に含め、詳細については基本計画において記載することを検討。
	【3節】循環を 基調とするまち づくり	低炭素を基調としたまちづくりの視点を追加。	大綱5で明記。
【6章】 安全で魅力 的なまちづ くり	【1節】安全な まちづくり	地域の防災、防犯力の向上の視点を追加。	大綱2【防災・防犯】で明記。
	【2節】暮らし や都市活動を 支える基盤づ くり	①地域の特性を生かし、将来的なニーズにも対応した都市機能などの適切な立地誘導が必要。 ②インフラ「整備」から「更新」へ。 ③「健都」の取組について健康・医療の分野へ施策の位置づけの変更を検討（ハードからソフトへ）。 ④都市基盤の整備・維持に関してユニバーサルデザインや環境への配慮の視点に加え、防災の視点を追加。	①大綱6【都市形成】の概念に含め、詳細については基本計画において記載することを検討。また、基本構想の将来像において、都市空間の方向性として明記。 ②大綱6で明記。 ③「健都」については、大綱3【福祉・健康】への位置づけを想定。詳細は基本計画において検討。 ④大綱6で明記。
【7章】 活力あふれ にぎわいの あるまちづ くり	【1節】地域の 特性を生かし た産業の振興	都市魅力を市内外に戦略的に発信。	大綱7【都市魅力】で明記。
	【3節】消費生 活を支える環境 づくり	安心安全の分野に施策を位置づけることを検討。	大綱2【防災・防犯】への位置づけを想定。詳細は基本計画において検討。
基本計画推 進のために	行政構造の改革 ／計画的な行 政運営の推 進	①「公共施設等総合管理計画」の取組を追加。 ②新公会計制度の活用の視点を追加。 ③持続可能で健全な財政運営の推進。	①大綱8【行政経営】において、公共施設最適化について明記。 ②大綱8の概念に含め、詳細については、基本計画において記載することを検討。 ③大綱8で明記。